

令和5年度実施事業報告

共創推進強化事業（共通）

地域共創タウンミーティングinまんのう町

【概要】

地域住民の方から地域が抱える課題に対する考え方などを伺い、産学官の様々な観点から意見交換を行うことにより、大学・地域共創プラットフォーム香川の今後の取組みに生かすことを目的として実施した

- まんのう町の協力のもと、まんのう町住民の方とPF構成員が意見交換を行い、地域課題や解決策などについて、率直なご意見をいただいた
- 空き家対策のための古民家改修補助や豊かな自然という強みを生かしたまんのう町の魅力発信など、意見交換の内容は、地域社会・地域経済を支える人材の育成・定着及びその人材が活躍する場の形成に向けたプラットフォームの今後の取組みの検討材料となった



メタバース等を活用した地域DXの実証

【概要】

香川大学において、メタバースを活用した県内企業等見学ツアーを開催した

●参加学生数

50名（香川大学41名、四国学院大学5名、高松大学4名）

※自由見学期間に27名（香川大学27名）

●参加企業等

県内企業等17団体（県内企業15、自治体2）

●実施結果等

学生アンケートの結果、県内企業への理解度が向上するとともに、自身のキャリア観の醸成に繋がった



プラットフォームの枠組みを活用した新規実証事業

【概要】

産学官共創共創チャレンジ支援補助金を創設し、産学官による新たな連携事業を推進

● 交付決定件数

10件

● 補助金を活用した取組み事例

- ・ 大学祭等での企業紹介やワークショップを通じて、大学生に地元企業の魅力に触れてもらう
- ・ VRゴーグルを使って薬剤師の活躍の現場をヴァーチャル体験し薬剤師という職業や薬学部への進学に興味を持ってもらう
- ・ 中小企業の社員を対象とする大学のハンズオン研修(リスキリング・リカレント教育)により、県内企業のDX推進のための人材の育成を行う
- ・ 高校生が県内企業の見学や経営者・若手従業員との対話を通じて地元で働くことを考えるきっかけにする



進学・教育部会の主な取組み

出前講座・体験講座等への講師派遣

【概要】

高校や中学校に大学等の教職員が出向き、授業や講演を実施した

●大学等の教職員による授業や講演 67件（1/31現在）

<アンケート結果：回答数 21件>

- ・講座の内容について
期待以上だった 52.4%
期待通りだった 47.6%

●大学・短大で講座を開設 13講座

参加者数：小学生286名

<アンケート結果：回答数 200件>

- ・満足度について
とても満足できた 84.5%
満足できた 15.0%

●探究型学習支援プロジェクトとして講師を派遣、生徒の研究成果を指導・講評

<香川県立高松北高校 2年GS成果発表会>

- ・運動部活動の地域移行
 - ・身近な食品ロス など
- 6テーマを発表



県内大学等合同進学説明会

【概要】

4校（香川中央高校、高松中央高校、小豆島中央高校、高松東高校）で実施。延べ792名の高校生に対し、県内大学の魅力等を発信。また、県内高校卒業・県内大学進学・県内企業就職のOB/OGが参加し、ロールモデルとして県内大学等の魅力をPRした

●参加学生数

香川中央高校	2年生	283名
高松中央高校	1年生	134名
小豆島中央高校	1～3年生希望者	135名
高松東高校	1年生	240名



探求型学習支援プロジェクトへの講師派遣

【概要】

香川県立高松北高等学校の「令和5年度 2年GS成果発表会」に、徳島文理大学の教員を派遣した

●発表テーマ

- ・どのように叱れば生徒は素直に受け入れるのか
- ・次世代のキャンプ場：Next Generation Camping
- ・交通事故を減らすためには
- ・人間科学 × サウナ ～運動後の疲労を早くとるには～
- ・運動部活動の地域移行について
- ・身近な食品ロスについて

●講師

徳島文理大学 文学部長 濱田 宣



デジタルキャンパスガイドの作成・公開

【概要】

県内大学等の情報をまとめたWebサイト「かがわキャンパスガイド」を作成・公開した

- Webサイト公開に合わせて、県内高校生向けに周知チラシを配布（県内高校43校、中学校71校等）

- 掲載校
 香川大学
 香川県立保健医療大学
 四国学院大学
 高松大学・高松短期大学
 徳島文理大学香川キャンパス
 香川短期大学
 せとうち観光専門職短期大学
 香川高等専門学校

県内大学等9校の
魅力・情報がまる分かり！

かがわ キャンパス ガイド web

香川県内の大学・短期大学などの
概要や魅力、役立つ情報を集約！
意外と知らない県内の大学や学部・学科を知り、
香川で学び、香川で働く未来を考えてみませんか？

1. 県内の各学校の基本情報
どんな学校や学部・学科があるのか、ぜんぶ分かる
2. 各学校の特色や取組み
キャリア支援や施設・教員などを紹介
3. 学校別先輩インタビュー
現役の先輩や県内に就職した卒業生の生の声
4. 学部別の卒業後進路調査
就職先の業種の最新データを掲載
5. 県や各学校の奨学金制度一覧
独自の奨学金制度の取組を見やすく掲載
6. 取得可能な資格や目指す職種例
自分のやりたいことから、行きたい学校が分かる！

かがわキャンパスガイド-web- <https://chikiki-pf.kagawa-u.ac.jp/kagawacampusguide/>
 〒760-0013 香川県高松市東通町3丁目2-1 電話:087-832-3105 FAX:087-831-1165

四国学院大学

Shikoku Gakuin University
四国学院大学

文学部
文学、国文学、歴史学、地理学、英語、平和学、学校教育、科学教育

社会福祉学部
社会福祉学、心理学、カウンセリング、福祉社会と福祉実践、福祉実践と福祉、子ども福祉、スクールソーシャルワーカー

社会学部
社会学、メディアとサブカルチャー研究、観光学、身体文化と舞台芸術（演劇コース）、舞台技術・公演、アーツ・マネジメント、演劇ワークショップ実践、国際文化マネジメント、情報理工学、ベースボール科学、健康・スポーツ科学

四国学院大学
〒760-0013 香川県高松市東通町3丁目2-1
3.8 ★★★★★ 47件のクチコミ
拡大地図を表示

特色豊かな人間教育＝リベラル・アーツ教育

2019年に70周年を迎えたキリスト教主義の大学。他者への理解を深める「社会福祉」の取り組みや、学部領域を超えた総合的な人間力を育てる「リベラル・アーツ教育」など本学教育プログラムに、キリスト教の精神が活かされています。また、演劇やダンスを通じて感受性や表現力を養い、社会に生きるコミュニケーション能力を育てる「ドラマ教育」、海外研修プログラムや海外協定校との留学制度を取り入れた「国際交流」など、特色のある教育を実施。

2年次以降に20メジャー（主専攻）と4マイナー（副専攻）から学びたいものを選択できるのが「メジャー制度」です。学部を超えて履修のメジャーを組み合わせても、途中で変更することも可能です。幅広い分野から学びたい学部を主体的に選び、自分の可能性を探ることが出来ます。

大学ホームページはこちら

なりたい自分になるための取り組みとレポート

県人に合わせた学びの制度

他学部の専攻も選んで学べる「メジャー制度」

国際交流会（学生）の開催

【概要】

県内大学等の留学生を対象とする交流会（うどん打ち体験）を開催した

●参加校

香川高等専門学校、香川大学、四国学院大学、徳島文理大学

●参加者の出身国

カンボジア、韓国、中国



その他の取組み

●単位互換

開設科目数 554、受講者 10名

●大学等教員のFD・SD研修の実施

- ・「地方大学の新たな選択肢～これからの魅力ある地方大学とは～」
- ・危機管理シンポジウム
- ・数理・データサイエンス・AI共育強化拠点コンソーシアム四国ブロックシンポジウム

●リスクマネジメント活動

危機管理シンポジウム：参加者 189名（会場69名、オンライン120名）

●地域における高等教育の中長期グランドデザイン検討会

講師：リクルート進学総研所長 小林浩氏

県内大学等の担当者向けの講演、意見交換を実施

就職・産業振興部会の主な取組み

うどん県の自治体で働こう大懇談会

【概要】

香川県内の自治会等の担当者やOB/OGが一同に集まる大懇談会を開催した

- 参加自治体
香川県、高松市、坂出市、三豊市、東かがわ市、
宇多津町、丸亀市、善通寺市、観音寺市、さぬき市、
三木町、香川県警察、香川県教育委員会
- 参加者
県内大学等の学生 19名
- 開催場所
香川大学幸町北キャンパス オリーブスクエア2階
多目的ホール



キャリア支援研修会

【概要】

県内大学生等のキャリア支援を目的として、就職活動のポイントを企業の人事担当者が解説した

- 実施主体
香川短期大学
- 実施場所
高松大学・高松短期大学大ホール
- 参加企業
株式会社レクザム
- 参加学生数
13名
- 実施内容
「企業の採用担当者が教えるはじめての就職活動」



学生の就職選定等の実態把握と分析

【概要】

令和4年度に、地域活性化部会が実施した学生向け「就職活動の状況等に関するアンケート調査」の結果を踏まえ、学生の就職活動と県内企業の採用活動との間にあるギャップ等を把握することを目的に、県内企業向け「採用活動の状況に関するアンケート調査」を実施した

●対象企業

香川県に本社を置く企業 1,000社

●有効回答数

348社

●設問内容

県内企業が求める人材（新卒、中途採用、外国人材等）、採用活動におけるPRポイント、採用スケジュール など

●調査結果

集計内容を基に報告書を作成中

香川県内企業 採用活動の状況に関するアンケート調査

■回答者情報および企業などの属性についてお聞かせください。

貴社名			
部署・役職名		御担当者名	
電話		E-mail	
業種	A_農業・林業・漁業	B_建設業	C_製造業
	D_電気・ガス・水道業	E_情報通信業	F_運輸業・郵便業
	G_卸売業・小売業	H_金融業・保険業	I_不動産業・物品賃貸業
	J_宿泊業・飲食サービス業	K_教育・学習支援業	L_医療・福祉関連業
	M_サービス業（他に分類されないもの）		
	N_公務・団体（他に分類されるものを除く）		
	O_その他（ ）		
従業員数	1. 30人未満	2. 30人以上	3. 50人以上
※常用パート含む	4. 100人以上	5. 500人以上	6. 1,000人以上

※本調査の結果につきましては、貴社の情報が公表されることはありません。収集した情報は、本調査の目的である大学・地域共創プラットフォーム香川や各構成員の参考資料としてのみ使用し、それ以外の目的に使用することはありません。

貴社の採用に関する基本事項についてお聞かせください。

【定義①】：採用活動とは、正規雇用の採用に係る活動のことを指します。

【定義②】：新卒の卒業生とは、大学・大学院・短期大学・高等専門学校（専門学校）の卒業生のことを指します。外国人留学生は除きます。

学生による企業インタビューシップの実施

【概要】

高校生・大学生等が企業に出向いて経営者や従業員にインタビューし、魅力ある地元企業を知ってもらう「共育型インターンシップ」、「インタビューシップ」を実施した

●共育型インターンシップ

「地域で若者を育て地域に若者が戻る（残る）、
地域に若者が希望をもって帰ってくる活動」
として実施

実施主体：香川県中小企業家同友会

参加者：高校生 225名

（三木高校、高松商業高校、飯山高校、志度高校）

参加企業数：県内企業170社

●インタビューシップ

地元で働く意味を考え、自身のキャリア観を見直すきっかけとして、学生が企業に出向いて経営者や従業員にインタビューを実施。

実施主体：高松大学 蓮井教授
香川県中小企業家同友会

参加者：高松大学生 9名

（「キャリア開発演習Ⅱ」受講生）

参加企業数：県内企業7社

高校、大学等のイベント等を活用した地域の魅力発信

【概要】

香川大学祭にブースを設置し、学生をはじめとする来場者に対する県産農畜水産物及びその生産に関わる団体の魅力を発信した

●実施主体

香川県漁業協同組合連合会、
香川県農業協同組合中央会

●来場者数

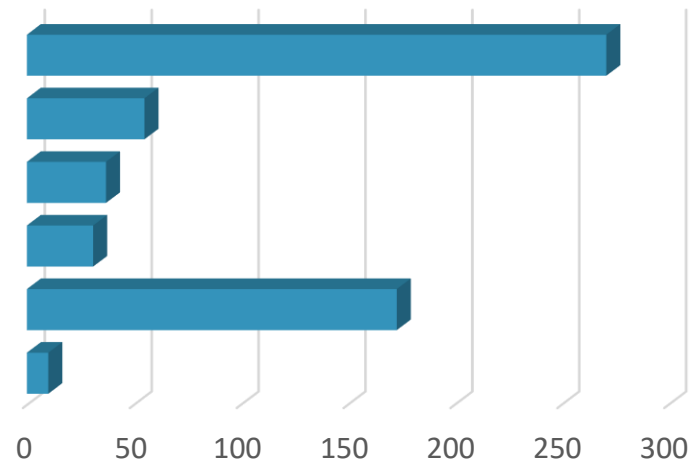
464名（大学生270名、その他194名）



来場者アンケート

「あなたは地域農業・漁業を応援するためにどのようなことに協力したいと思いますか」

香川県の農畜水産物を積極的に購入していきたい
副業やアルバイトとして農業・漁業に従事したい
将来的に本格的に農業・漁業に従事したい
農業・漁業を支えていく仕事に就きたい
協力したいが何をしてもよく分からない
協力できることはない



地域活性化部会の主な取組み

学生による観光資源の情報発信等

【概要】

学生や市町の地域おこし協力隊が自治体職員と連携して取材・記事作成を行い、若者を惹きつける県内の観光資源等について県公式SNS等に記事を投稿し、若者目線で県内地域の魅力を発信した

● 投稿内容／表示回数（インプレッション）

高松市内店舗紹介／11,109

東讃地域観光スポット①／24,126

東讃地域観光スポット②／17,378



アンケート調査の詳細分析等と対策検討

【概要】

県内外の就職活動を終えた学生へのアンケート調査（R4年度実施）を基に、定性的な分析のため、大学生・企業社員へのインタビュー調査を実施した

●ワーキンググループを中心に、両調査の結果から得られるポイントや今後の方向性（新規採用に限らず中途採用や外国人材の活用等にも視野を広げること、小学生～高校生に県内企業を知ってもらうことの重要性など）について議論、検討を行った

①アンケート調査

- ▶ 令和5年1～2月に、就職活動を終えた県内外の大学生/短大生/高専生を対象にウェブアンケートを実施。
- ▶ 就職活動の実態や県内就職に係る意向等を調査。
- ▶ 470名が回答。

学生の傾向を定量的に把握

②インタビュー調査

- ▶ 令和5年5～8月、香川大学生及び若手社会人を対象に、インタビュー調査を実施。
- ▶ アンケート調査の結果を受け、就職活動思考や行動についてより詳細に把握することを目的とした調査。

定量データを定性的に深掘り

③ワーキンググループでの議論

- ▶ 令和5年10月に、2回開催。
- ▶ 部会の枠を超え、産学官の各主体がアンケート調査及びインタビュー調査の結果を基に、意見交換を行い、今後の方向性について議論。

今後の取組み等を議論

アンケート調査結果のまとめ

- ▶ 大学進学で県外に出た学生は、半数以上が就職で県内に戻らず、大学進学で県内に来た学生は、大半が就職で県外に戻っている。
- ▶ 給与・福利厚生が、就職活動開始時と就職先決定時のどちらにおいても最も重視されており、特に県外企業等に就職した学生や業界別では情報通信業、金融業・保険業に就職する学生において、その傾向が強い。また、回答者は、県内就職者を増やすために、県内企業等が給与を増やすべきと考えている。
- ▶ 県外就職を決めた理由として、希望する業種や職種がなかったことが最も多く、県内就職検討時に困難だったこととして、希望する業種や職種の企業が少なかったことが最も多い回答であった。業界別では、情報通信業、サービス業、製造業でその傾向が強い。さらに、回答者は、就職時期の県外転出が多い主な原因が、県内に働きたいと思える企業や仕事が少ないからと考えている。
- ▶ 男性はより給与や企業の安定性、知名度など、仕事の条件やステータスを重視する傾向があり、女性は仕事の条件に加え、地元で働けることや職場の雰囲気、ワークライフバランスなど、仕事・生活の環境も重視する傾向がある。
- ▶ 女性の方が県内企業等への就職を検討した割合が高く、実際に県内企業等への就職をした割合も高い。
- ▶ 就職先決定時に参考にした人の中で、両親が最も多い。
- ▶ 県内出身者は、大学や就職で県外に出ても、香川県への愛着を感じている。

インタビュー調査結果のまとめ

- ▶ 給与と福利厚生では、福利厚生を重視する傾向にあり、特に家賃補助、残業手当は必須と考える学生が多い。
- ▶ 給与では、初任給20万円以上という基準を持っている学生が多い。
- ▶ 情報通信業は、初任給22～23万円が基準であることが多い。
- ▶ 公務員志望者は、給与の基準を設けていない。
- ▶ 希望する業種や職種を決めてから、企業等を探す場合が多い。
- ▶ 希望する業種や職種の県内企業を知らない学生が多い。
- ▶ 県内の情報通信業は、規模が小さく、顧客が限定されることで就職先の候補から外れる。
- ▶ 県内企業もマイナビ・リクナビで情報収集しており、県の就職サイトの認知度は低い。
- ▶ 「女性が表に立つ企業であることに共感」「将来、子育てがしやすい場所に住みたい」といった環境面を重視する女子学生の声がある。
- ▶ 職場の雰囲気は、男女問わず、就職先決定時に重視するポイントとなっている。
- ▶ ケースは少ないが、両親等の影響によって、業種や勤務地が学生本人の希望から変わる場合がある。
- ▶ 県外出身者が大学在籍中に香川をよく知る機会に恵まれず、愛着を持っていないまま県外に帰っていくケースがある。

関係案内所等の先進事例勉強会の開催等

【概要】

地域活性化に取り組む県内の先進事例から学び、他地域への展開を図るため、スタートアップや地域の産業界による人材育成の取組みをテーマとする勉強会を三豊市で開催した

- 講師
瀬戸内ワークス(株) 原田 佳南子 代表
- テーマ
ローカルスタートアップや地域における人材育成の取組み
- 参加者
39名
大学等教職員、学生、自治体職員、地域おこし協力隊、
地域づくり団体 など



産学官関係者の連携強化に向けた交流促進

【概要】

県内の産学官関係者がつながり、相互理解を深め、連携事業創出の基盤づくりを目的とする
産学官連携交流会（各プレゼンテーション+懇親会）を開催した

●参加者

97名

大学等教職員、学生、経済団体職員、民間企業職員、
自治体職員など

●参加者アンケート結果

90%超が「大変良かった」「良かった」と回答

●産学官で取り組みたい分野や次回以降のテーマ

防災、DX、Uターン転職、起業、農業・漁業など

